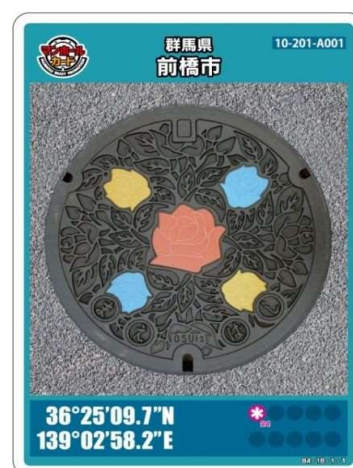
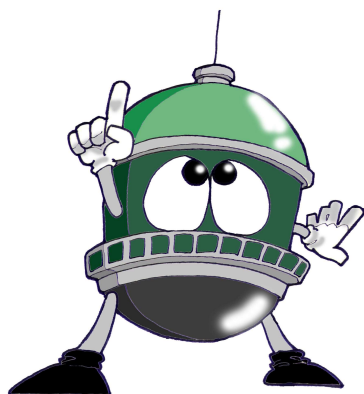


前橋市 水道事業・下水道事業

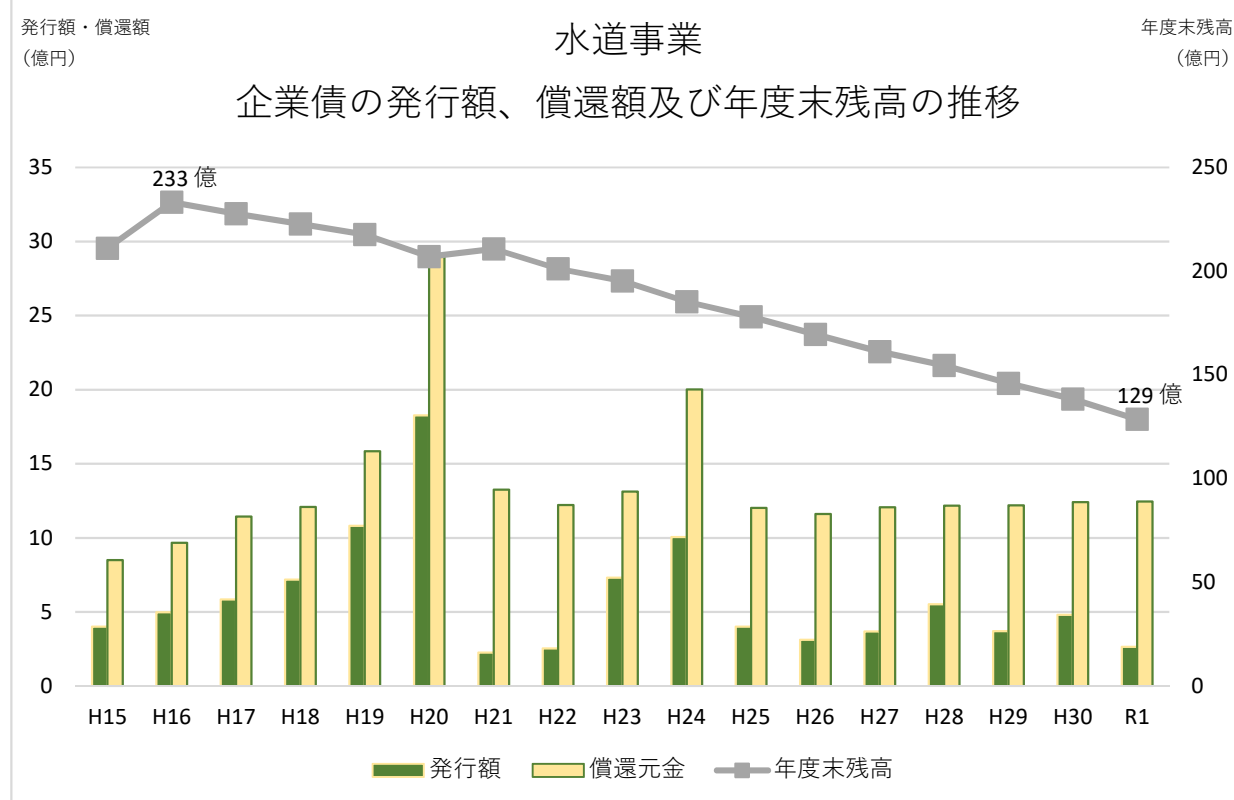
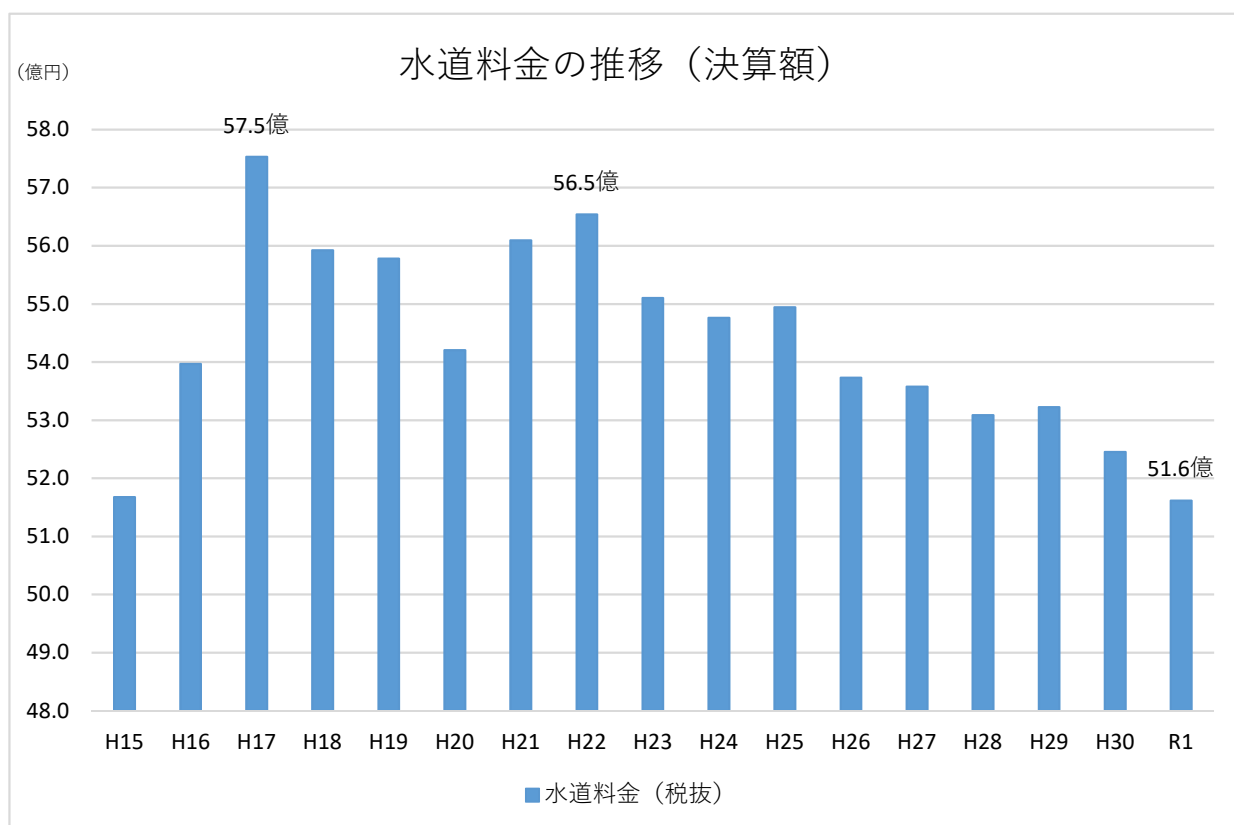
令和3年度 当初予算(案)の概要

<目 次>

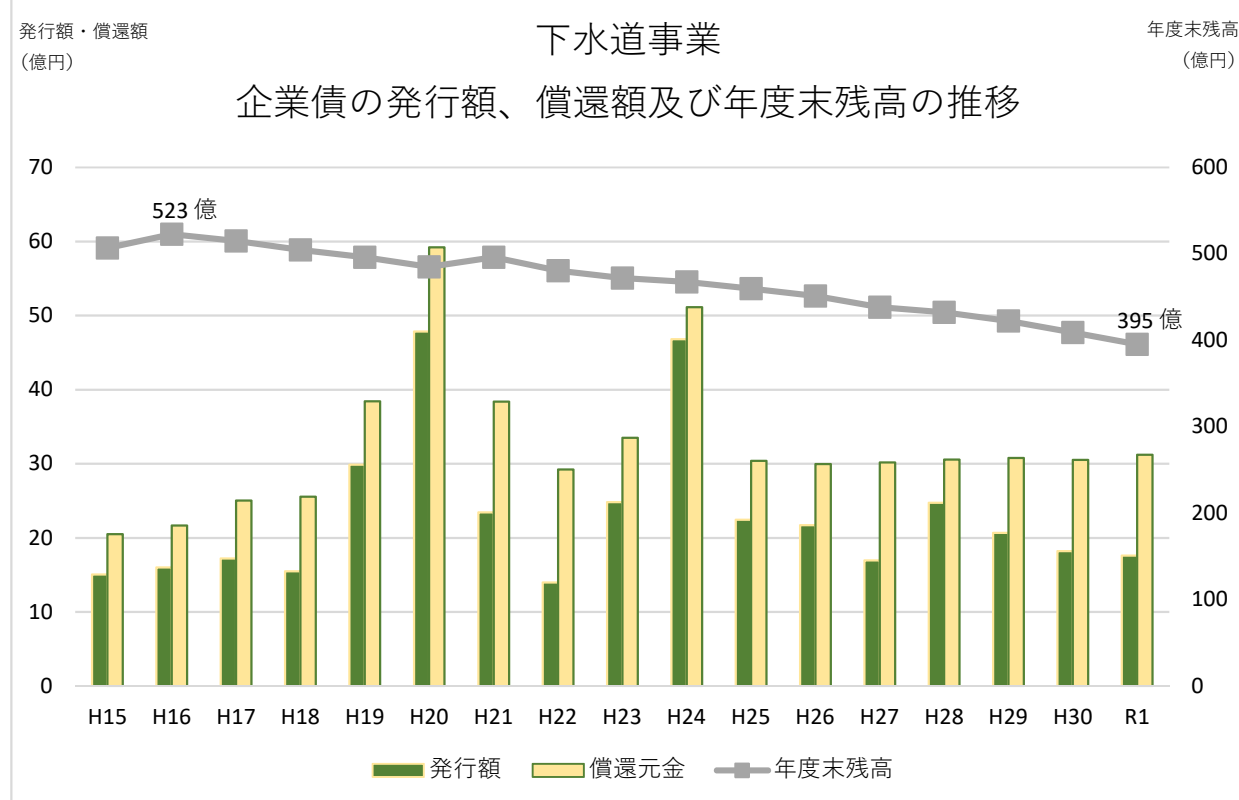
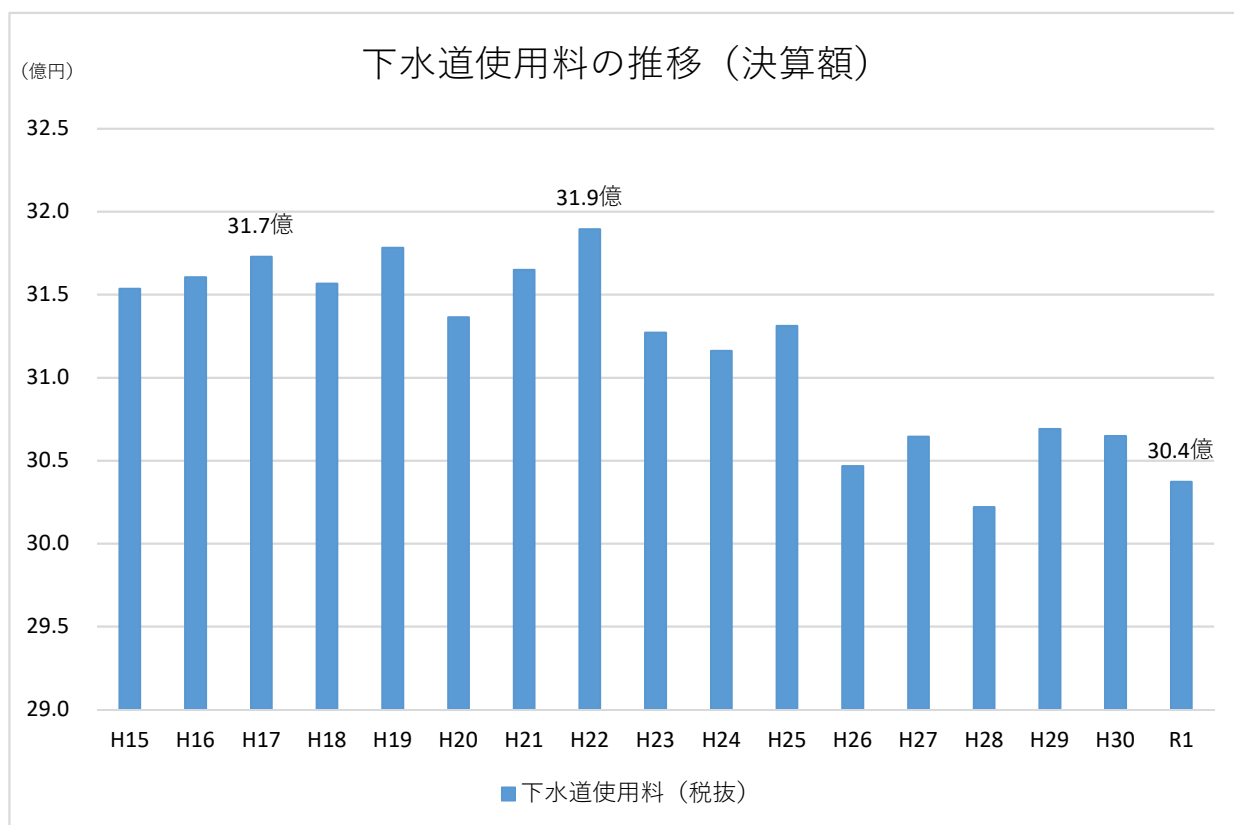
- ・水道料金と企業債残高の推移 … 1
- ・下水道使用料と企業債残高の推移 … 2
- ・水道事業会計の当初予算(案) … 3～4
- ・下水道事業会計の当初予算(案) … 5～6



前橋市 水道局 経営企画課



平成16年度は大胡町、宮城村、粕川村と合併し、企業債を引き継いだ。
 平成17年度～平成24年度に利率の高い企業債の繰上償還や借換を実施した。
 平成21年度は富士見村と合併し、企業債を引き継いだ。
 平成25年度からは、簡易水道事業（湯之沢、三夜沢）を水道事業に統合した。



平成16年度は大胡町、宮城村、粕川村と合併し、企業債を引き継いだ。
 平成17年度～平成24年度に利率の高い企業債の繰上償還や借換を実施した。
 平成17年度から資本費平準化債の借入を実施している。
 平成21年度は富士見村と合併し、企業債を引き継いだ。

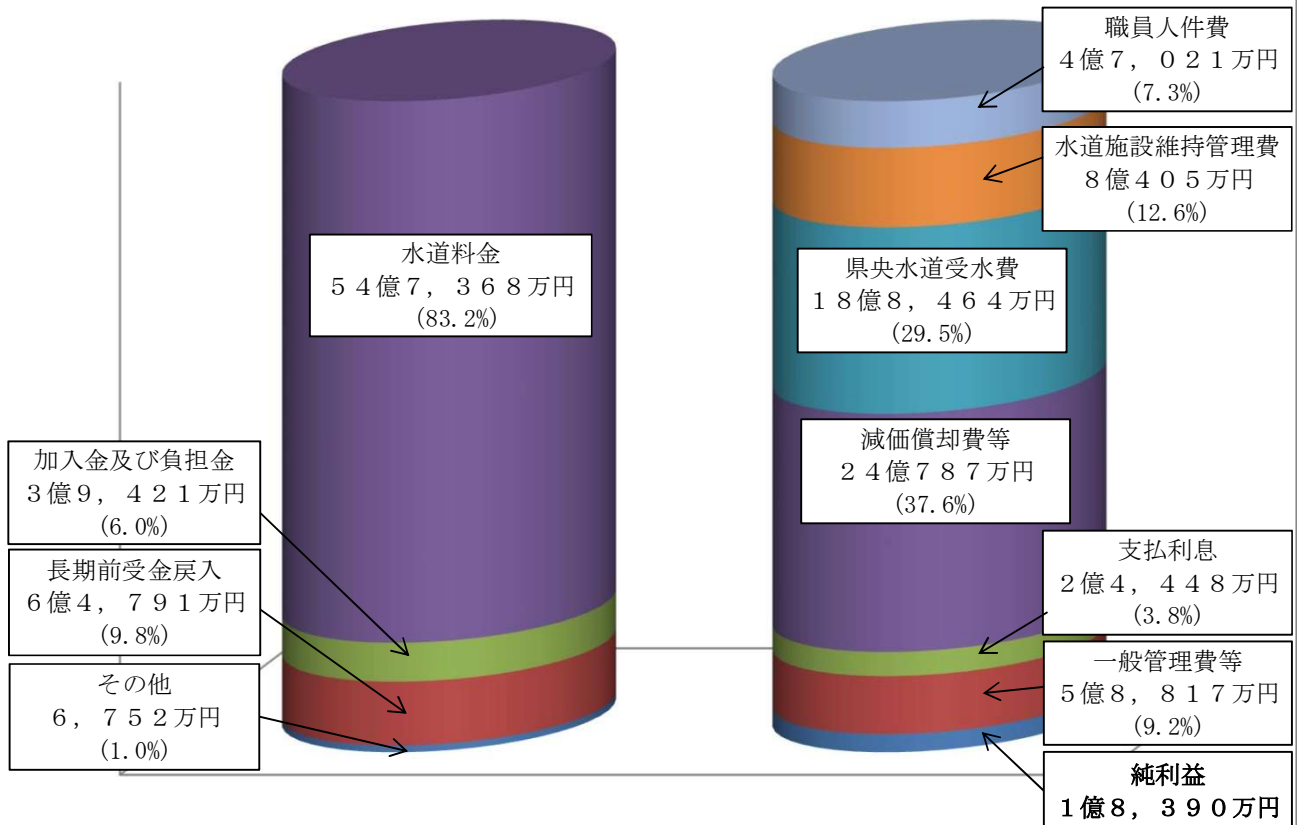
令和3年度 水道事業会計当初予算の概要

税込み

【収益的収支】・経常的な収支の状況

収入合計 65億8,332万円

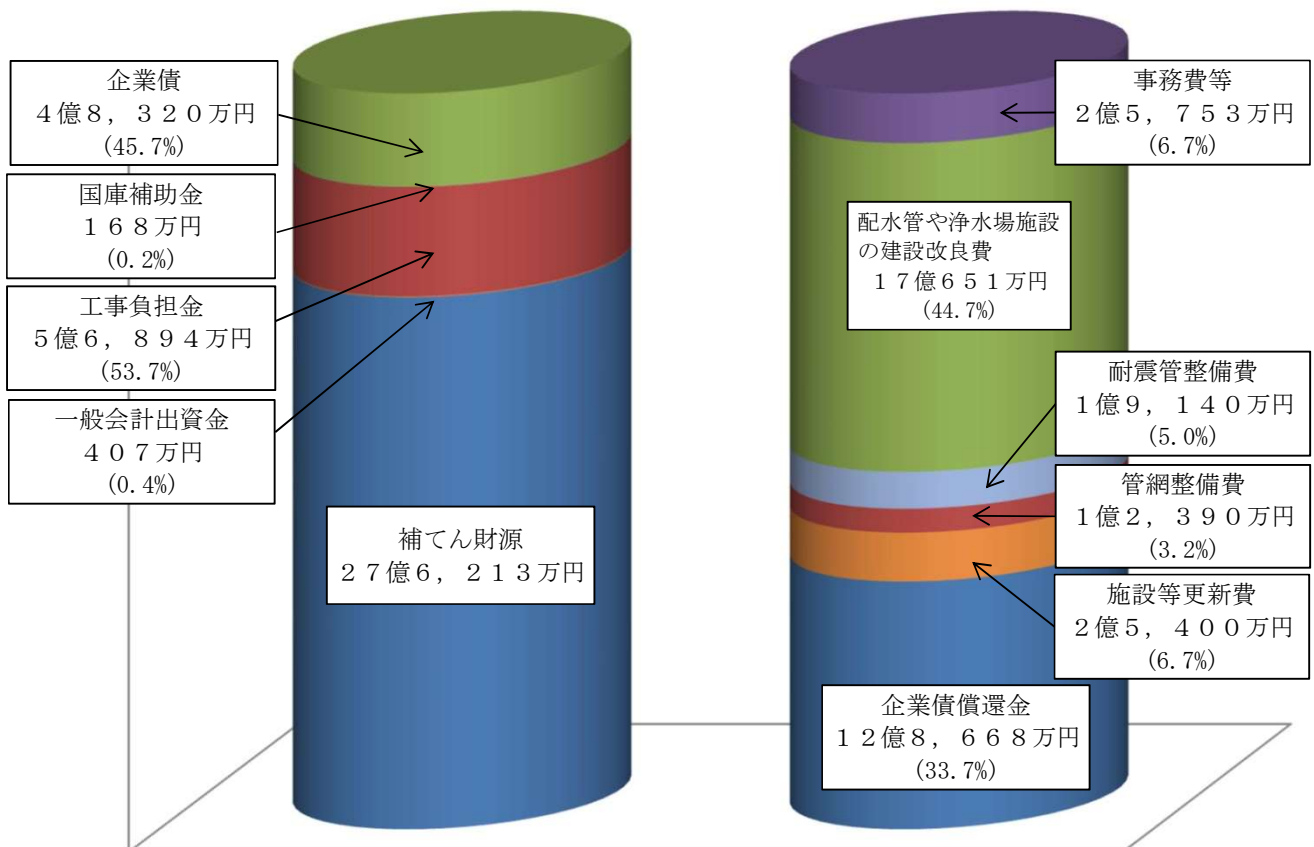
支出合計 63億9,942万円



【資本的収支】・投資的な収支の状況

収入合計 10億5,789万円

支出合計 38億2,002万円



水道事業会計の主な事業(令和3年度当初予算案)(税込)

重要給水施設管路耐震化事業(1億9,140万円)

地域防災計画等を参考に、災害時に特に重要と考えられる施設(災害拠点病院4箇所、災害対策本部など9箇所)を重要給水施設と位置づけ、災害時でも給水できるように供給ルートの耐震化を図ります。(事業計画はR1～R11年度)

令和3年度は、群馬県庁へ続く管路の耐震化工事が完了予定となります。

【重要給水施設】①群馬県庁②前橋市役所③消防局中央消防署④水道局⑤大胡支所⑥宮城支所⑦粕川支所⑧富士見支所⑨ヤマダグリーンホーム前橋⑩前橋赤十字病院⑪群馬大学病院⑫済生会病院⑬群馬中央病院

※R3年度予定箇所:①、⑥、⑧、⑨、⑩



配水管の耐震化の様子

県央水道受水費(18億8,464万円)(県央第一:10億2,985万円、県央第二:8億5,479万円)

◎受水割合の推移

(単位:%)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
自己水	47.6	48.4	48.5	46.2	45.1	44.3	44.1	43.9	43.6
県央水	52.4	51.6	51.5	53.8	54.9	55.7	55.9	56.1	56.4
内 県央第一	37	37.5	37.8	38.9	39.2	39.6	39.5	39.6	39.9
訳 県央第二	15.4	14.1	13.7	14.9	15.7	16.1	16.4	16.5	16.5

※県央第一(単価:50円/㎥(税抜))、県央第二(単価:100円/㎥(税抜))

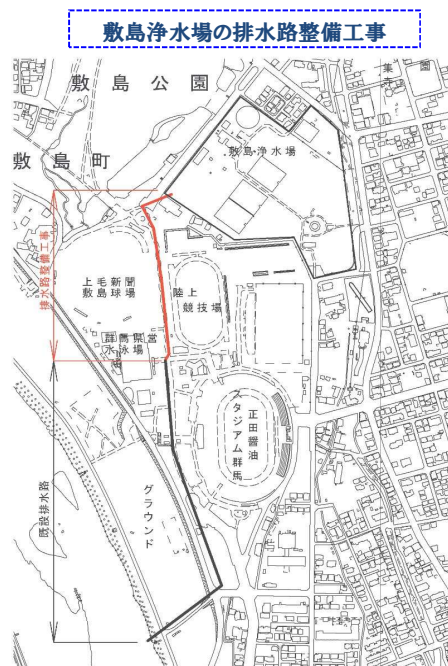
※県央第二はR2.4.1より単価(税抜):102円/㎥⇒100円/㎥

敷島浄水場更新整備事業(8,500万円)

平成27年度から敷島浄水場基本設計業務に着手し、以降、敷島浄水場全体の更新について検討を進めています。

令和2年度に新配水塔が完成し、令和3年度については、今後の配水池及びポンプ設備等の更新に備え、維持管理に支障が生じている場外排水路の整備工事を行います。

敷島浄水場全体の更新に向けた詳細設計については、令和3年度完成予定です。



敷島浄水場の排水路整備工事

施設等更新事業(1億6,900万円)

水道ビジョン(H27～R11年度計画)に基づき、浄水施設等の更新を進めます。

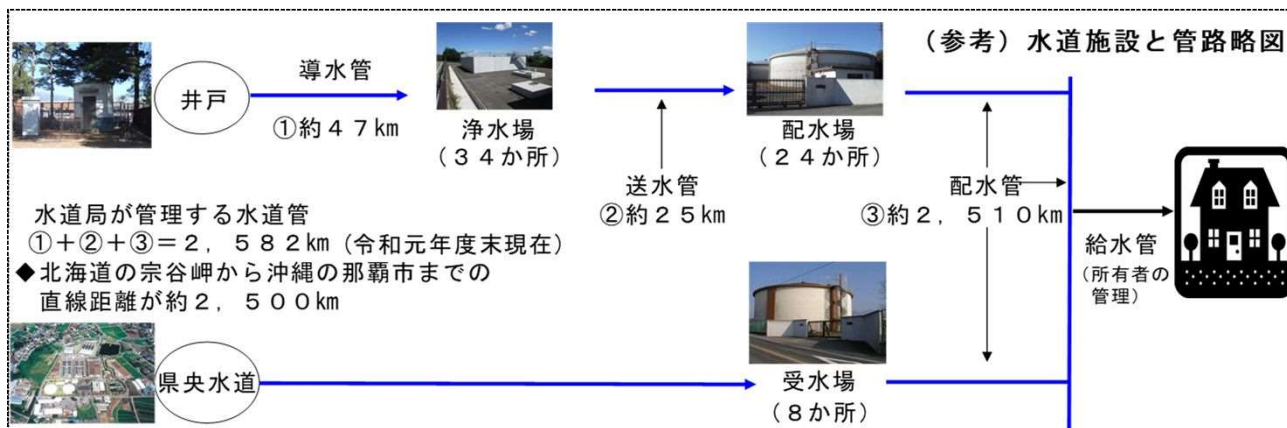
【主な更新事業】

①荻窪受水場の築造工事(9,900万円)

総額5億5,000万円 <R3～R5年の3か年で実施>

②中之沢浄水場の詳細設計(1,500万円)

総額5,000万円 <R3～R4の2か年で実施>



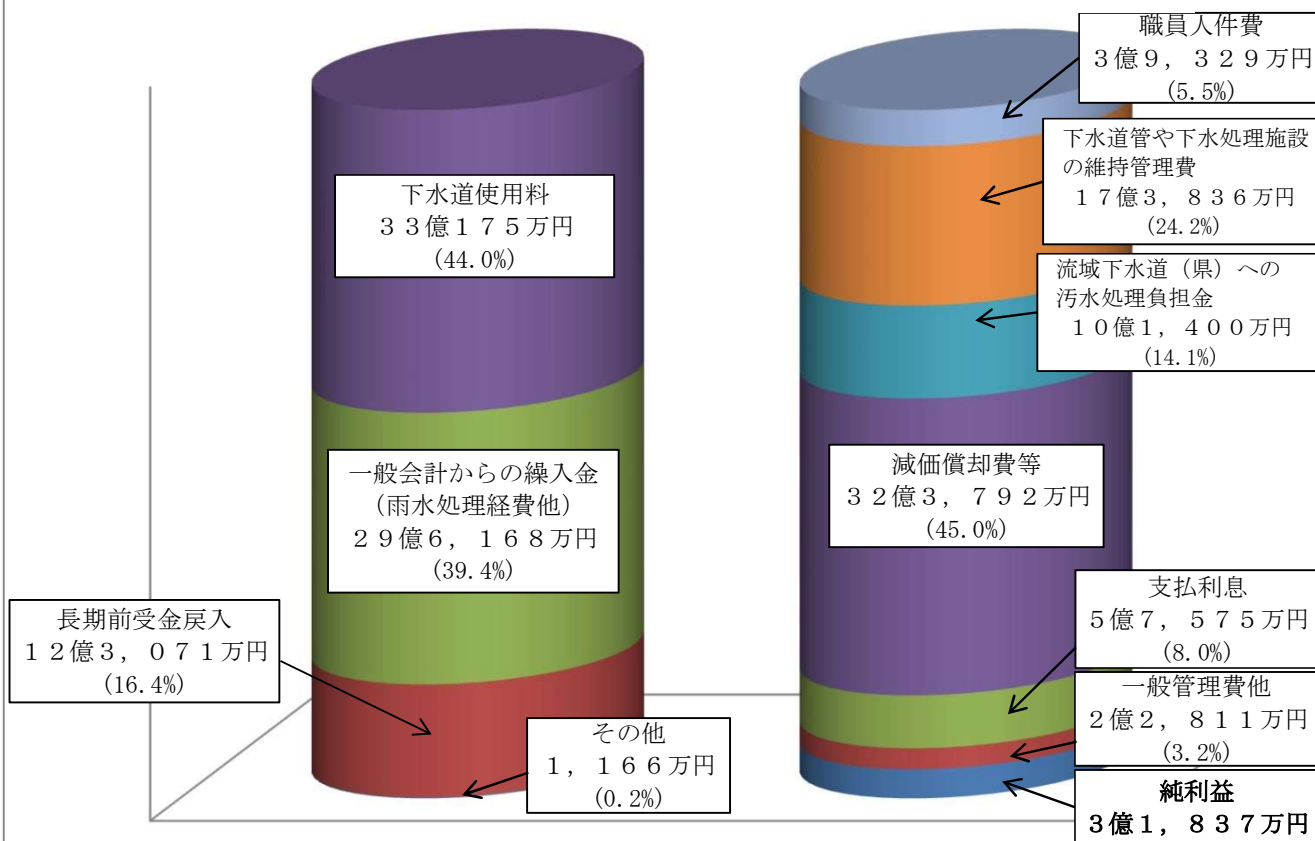
令和3年度 下水道事業会計当初予算の概要

税込み

【収益的収支】・・経常的な収支の状況

収入合計 75億580万円

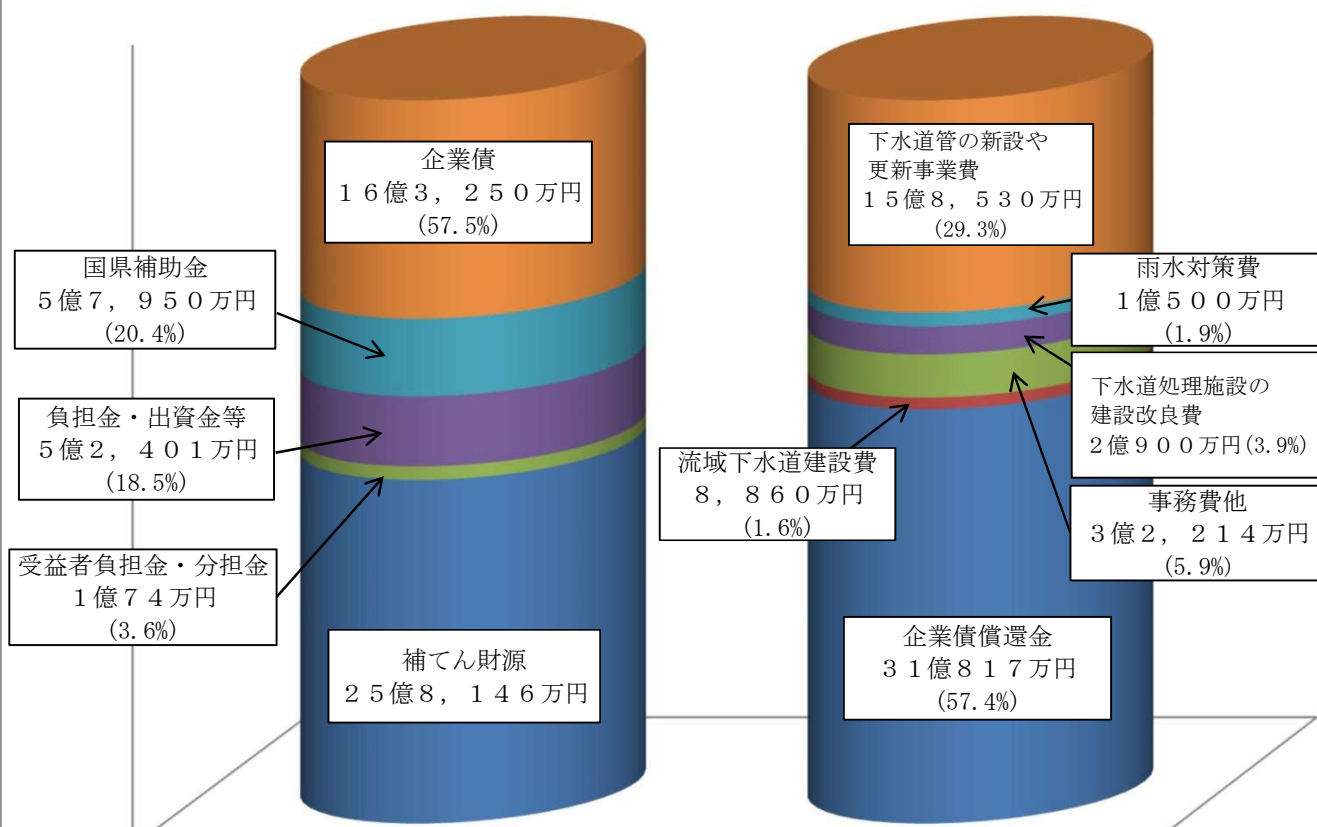
支出合計 71億8,743万円



【資本的収支】・・投資的な収支の状況

収入合計 28億3,675万円

支出合計 54億1,821万円



下水道事業会計の主な事業(令和3年度当初予算案)(税込)

処理場・ポンプ場施設の維持管理(12億4,321万円)

水質浄化センター(六供町)は、昭和38年に運転を開始し、現在、処理面積1,171.6ha、処理能力は、84,200m³/日となっています。

また、赤城山大洞処理場は、大沼周辺の47haが処理面積で、昭和63年に運転を開始し処理能力は、1,000m³/日となっています。

なお、中継ポンプ場は市内に10か所設置されており、汚水等を処理場へ円滑に流下させるために重要な役割を担っています。

管渠新設事業(11億2,720万円)

流域関連公共下水道事業計画に基づき下水道幹線及び枝管の管渠布設を行い、快適な生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図ります。

- ・利根西(東地区 他)延長188m、面積0.27ha
- ・利根東(永明、上川淵、桂萱、芳賀、南橘、大胡、富士見地区 他)延長5,379m、面積29.74ha
- ・土地区画整理区域内(千代田町三丁目地区、駒形第一地区、文京町四丁目地区、元総社蒼海地区、松並木地区、富士見町小暮地区)の下水道管整備に伴う工事負担金

下水道長寿命化事業(4億810万円)

ストックマネジメント計画に基づき、老朽管の改築・更新事業を進めます。

処理場建設事業(5,700万円)

水質浄化センター内の設備機器の更新工事を行います。

- ・3系分流汚水ポンプ更新工事

水質浄化センター再構築に係る基本設計業務(1億2,500万円)

R1年度実施の水質浄化センター更新基本構想策定業務を基に、R2、R3の2か年で基本設計を行います。

ポンプ場建設事業(2,100万円)

敷島汚水中継ポンプ場の電気設備実施設計を行うとともに、岩神ポンプ場の汚水ポンプ更新工事を行います。

◆下水道処理人口普及率

H29年度末	H30年度末	R1年度末	R2年度末見込	R3年度末見込
70.9%	71.2%	71.5%	71.6%	71.8%

◆R1年度末現在

	前橋市	群馬県	全国平均
下水道処理人口普及率	71.4%	54.6%	79.7%
汚水処理人口普及率※	93.4%	81.8%	91.7%

※汚水処理人口普及率：公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽、地域し尿を含めた普及率



敷島汚水中継ポンプ場



岩神ポンプ場